

先日、経済産業省ロシア支援事業の一員としてロシア国サマラ市を訪問してきました。サマラ市はモスクワ郊外、ボルガ川に隣接する歴史豊かな都市で人口百万人を超える中核都市です。

今月号は、その視察報告です。

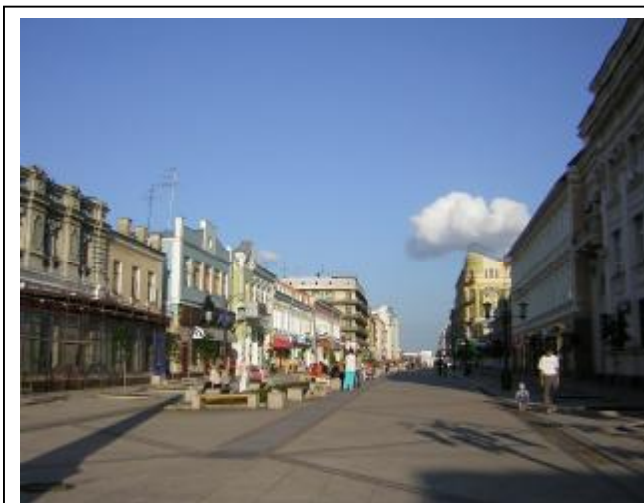
1. モスクワ郊外の都市も急速に西欧化……成長する地方都市サマラ市

ロシア経済は2000年に年10%成長を果たしその後も順調に推移し、地方にも経済発展が広がっています。今回訪問したサマラ市でも急速な産業復興・成長ぶりが目立ちました。

ロシアでは、ソ連解体後の市場経済改革が、主として石油や天然ガス産業とその関連産業に偏重していました。しかしプーチン大統領の強いイニシティブのもとで、経済構造改革が推進され各地で諸産業が復興する兆しが見えてきています。

エネルギー産業への高い依存度を是正し産業・経済全体の近代化をめざす「社会経済発展プログラム」を立案し、経済構造の改革を進めるため、ロシアの経済専門家を総動員し改革努力を実施しているのです。

サマラ市でも、外国資本導入などの積極的政策が実施され、地域産業振興の施策が進められており、市場経済の活性化が急速に進展しています。



2. 豊かで明るい地方都市(サマラ市)

市場経済移行する段階で、国民も大きな負担を強いられた様子ですが、ようやく全国レベルで経済復興の兆しが見え、ロシア国民にも明るさが目立ってきました。

百万人都市のサマラ市でも市内に新しい工場や企業が新興し、朝晩のサラリーマンの出退勤風景、休日のボルガ川の家族バカンス、夕暮れ時の市内繁華街の賑わい、など豊かさとともに明るい国民性が目立ってきました。

3. 西欧勢中心の外国企業投資……日本からの投資、輸出入は極めて低位

成長するロシアに対し、西欧諸国は積極的な企業投資をスタートしています。ロシアへの外国資本の直接投資は、01年39.8億ドル、02年40億ドル、03年67.8億ドルとこの3年間は大きく伸びています。ただし、その中心は英・独・仏の3カ国であり、日本は累積投資額でこの3カ国の四分の一程度と極めて低位な状況です。

また外国とロシアの輸出入金額については、03年はトータルで2千億ドル（前年比25%増）と順調ですが、日本は輸出入においても17位と出遅れが目立っています。

その中で日本の自動車産業については、ロシアに自動車生産工場の建設を検討するという話題があるなど、日本の産業界でもロシアの経済復興や経済の好調ぶりに目を向け始めています。

<参考となるサイト紹介>

社団法人ロシア東欧貿易会

<http://www.rotobo.or.jp/>

外務省ロシア関連

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/russia/index.html>